

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第52号

- 2015年3月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 石井一也
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文一堂印刷株式会社
045-231-1931

第47回 神奈川県青少年指導員大会開催

—地域で育てよう、青少年の明るい未来—

第47回神奈川県青少年指導員大会が、平成26年11月9日「小田原市生涯学習センターけやき」で465名の参加者を迎えて、盛大に開催されました。

県西地域2市8町の青少年指導員連絡協議会は、大会前月までに5回の実行委員会を開催して大会開催の準備を進めてきました。

◆オープニング

「歌いたい子どもの心を大切に」を目標に結成された、小田原青少年少女合唱隊の合唱で幕を開けました。長年にわたる内外での活躍にふさわしい素晴らしい歌声で「オープニングにふさわしく気持ちよく大会に入っていた」など、大変好評でした。



オープニング

◆開会・表彰式

高島和之大会実行委員長の開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の石井一也会長、吉川伸治神奈川県副知事、加藤憲一小田原市長から主催者あいさつがありました。石井会長は「私たち青少年指導員は、子どもたちが様々な困難に遭遇しても夢をあきらめることなく生きていけるよう、地域の皆様とともに健全育成活動に取り組んでいかなければなりません」と述べました。

続いて、60名の皆様が青少年指導員表彰を受賞され、感謝状が贈呈されました。来賓の方々をはじめ、会場からも惜しめない拍手が送られました。



主催者あいさつ

◆活動事例発表

小田原市青少年育成推進員協議会の活動概要を紹介するとともに、活動事例として「地域少年リーダー養成講座～きらめきロビンフッド～」が紹介され「ストーリー性のある段階的な活動計画など、独自の活動が参考になりました」との声が寄せられました。

◆講演

(一財)児童健全育成推進財団の鈴木一光理事長を講師に迎えて「大人が子どもを見守る意味」をテーマに講演をいただきました。

子育ての目的は「精神的・経済的に自立した大人に育てること」なのに、親が社会的な成功などを求めて子どもだけ良くしようと叱咤激励すると「子どもが辛い育ちになってしまう」と子育ての意義からお話をされました。

また、どのように子育てをしたらよいかについて「読み聞かせで想像力を高めたり、一緒に遊びに熱中する

などして、子どものあらゆる能力を高めることが大切で、その過程で自己肯定感を育むことができればベスト」と語られました。

ダーウィンの進化論から宮崎アニメのエピソードまで交え

た講演で、参加者からは「楽しみながら良い学びになった。参加して得した気分になった」との声を多数いただきました。



講演の様子

◆終わりに

次回、相模原地域の大会実行委員長である市丸克己委員長(相模原市長)から来年度の大会のご案内の後、大川良則副実行委員長(小田原市)による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。